

令和5年度補正予算

「マリ北部及び中部における国内避難民の緊急のニーズへの対応」の案件開始に係る式典

2024年4月23日（火）、国際移住機関（IOM）マリ事務所にて、「マリ北部・中部における国内避難民の緊急ニーズへの対応」の案件開始に係る式典が開催されました。

日本政府の令和5年度補正予算において約1億8700万円が拠出され、IOMによって実施される本件では、国内避難民及び受入れコミュニティの脆弱な人々の生活環境改善、より良い衛生環境と安全な水へのアクセス提供、信頼性の高いデータを通じたニーズ分析の強化が行われます。

本式典には、国際移住機関（IOM）マリ事務所のオリビエ・グロジャン所長代理、イブラヒム・アバ・サンガレ・マリ保健・社会開発省社会開発局長及び上菌英樹駐マリ日本国大使が出席しました。

本件は、国内避難民と受入コミュニティの保護及び生活条件の改善により、マリ北部・中部における緊急ニーズに応えることを目的としています。

